

Vol.1
2022.July

久工大だより

ファン

Fan



特集1

フォーミュラマシン製作を通じて
自身の可能性が鮮明になる

久留米工業大学 フォーミュラプロジェクト

特集2

“まちの課題”解決に向け
学生のアイデアを「社会実装」する

ASURA(アシュラ)

Fan 【ファン】

学生や教職員、大学の学びを主役として、久留米工業大学の「今」を発信。大学の思いを伝え、大学に親しみをもってもらい、大学の「ファン」になってもらいたいという思いを込めたタイトルです。大学をよりいっそう知りたいとき、大学に親しみをもってもらえるような冊子を目指していきます。



特集 1 Focus フォーミュラマシン製作を通じて 自身の可能性が鮮明になる

久留米工業大学 フォーミュラプロジェクト

9月開催の2022年大会向け 今はひたすら“造り込む”時期

2003年、(公社)自動車技術会の主催でスタートした「全日本学生フォーミュラ大会」。“優秀なエンジニアは実践で切磋琢磨してこそ湧出する”との大会理念に沿い、車両コンセプト案の捻出から設計、部品製作、組み立てまで、全てを学生に委ねて行われる競技大会です。

久留米工業大学フォーミュラプロジェクトは、大会発足4年後の2007年に初参加しました。以後、創意工夫と技術改善を積み重ねながら、継続的に大会出場を果たしてきました(2021年度はコロナ禍により静的審査のみ)。今年9月、静岡県内で開催される2022年大会への出場に向け、現在、プロジェクトリーダーである西田 大桜さん(4年生)をはじめとする本学の学生22名が、ニューマシンの製作を進めています。

「私はもともと、人と話すのが得意ではなかったので、スポンサー企業さんを回ったり大学側に報告したりと、言葉遣いを気にしなければならない場面で苦労しています」と、苦笑いする西田さん。エンジニアリーダーを任されている善 聖裕さん(4年生)も、「特に自動車の構造に詳しいというわけではなく、何となく人をまとめるのが得意だったから選ばれた感じです。」峯田 康平さん(3年

生)のように、「正直なところ、自分はクルマに関する知識が全くなくて、“何だか楽しそうなことをやってるな”という動機だけでプロジェクトに参加しました。だから本当に0からのスタートで、先輩たちに教えてもらったり手伝ってもらったりしながら、何とか製作に携わっています」というメンバーもいます。

得意ジャンルを選んで、その仕事だけを担当する…という“職人集団”的な運営ではなく、メンバーそれぞれに担当分野を振り分け、誰かの苦手な部分は他のメンバーがサポートし合いながら目的達成を目指すのが、同プロジェクトの特徴の1つだと言えるでしょう。さらに本学フォーミュラプロジェクトの場合、一般の部活動やサークルと違い、学生有志で構成する団体なので、活動方針もルールも、もちろん大会までの製作スケジュール管理なども、全てメンバー自身で責任を持たねばなりません。だからこそ、自立心や自己管理意識が否応なく高まってきます。その点も、活動に参加することの意義と言えるかもしれません。

「全体を見渡す」ことで エンジニアとしてのスキルが磨かれる

「高性能なクルマ」と聞いて、ハイパワーなエンジンを搭載した車両をイメージする人も多いかもしれません。実際の車両を製作する際、エンジンパワーだけを追求しても高性能なクルマにはなりません。ハイパワーになればなるほど、そのパワーで歪んだり捻れたりしないシャシ(クルマの骨格)と足回り、パワーを車軸に伝える駆動部、発生したスピードを制御する制動部(ブレーキ)など、全体のバランスが整っていなければならないのです。

「最初の設計段階で、タイヤがどれぐらい踏ん張ってくれるか、車体がどれだけロール(左右方向の傾斜)するかなどを全部計算して造っていくのですが、なかなか計算通りにできないんです」と、足回り部分の設計・製作を担当する渡邊 健太郎さん(4年生)。車両を





構成する部品や構造体の大部分を、学生自ら設計して造り上げるので、「部品を溶接する段階でも歪んだりするので、全体的な摺り合わせができていないと誤差を小さく抑えるのが難しいんです。」

2022年のニューマシン『F122』は、スズキから供給を受けた450ccエンジンを搭載しますが、完成品のエンジンだからといって、そのまま使えばOKというわけではありません。「私はパワートレイン班のエンジン回り担当ですが、エンジンをどう積んで、吸気から排気までをどのように最適化して、いかに効率的に駆動力に変えるかという“全体の流れ”を見なければ、車両としてのバランスは良好になりません」と、荒牧 龍之介さん(3年生)。

「F122のコンセプトは『シンプル&ベーシック』。これまでのマシンはターボチャージャーを付けていたんですが、今回はそれを外してNA(自然吸気)エンジンでチャレンジするので、給・排気系の見直しは大きな課題なんです」「ノンターボでパワーダウンする代わりに、軽量低重心設計で旋回性能を高めなければなりません」と、リーダーの西田さんも強調するように、自分の担当以外の部分にまで目を配らなければいけないのです。だからこそプロジェクトのメンバーたちは、活動を通じてエンジニアとしてのスキルが磨かれていくのです。

コロナ禍による不利を乗り越え 目指すは「九州地区No.1」

一昨年から続いたコロナ禍の影響で、プロジェクトメンバー同士のコミュニケーションが取りづらかった期間を経ての2022年大会。昨年度も「静的審査」のみの大会だったため、今年度のメンバーの中で大会の現場を経験しているのは数人だけです。それでも、「目標は総合成績20位以内、九州の大学・高専の中ではトップを狙っています。コロナ禍で不利だったのは、他のチームも同じですからね。そのためにもまずは、『動的審査』での完走を実現させないと。」(西田さん)

全日本学生フォーミュラ大会は、いわゆるフォーミュラカー・レースのようにタイムとスピードだけを競うのではなく、クルマとしての完成度を問う競技会です。そのため、コース上で走行競技を行う前

に、クルマの安全性や制御性、製作コスト、騒音レベルなどをチェックする厳しい車検が実施されます。

車検をパスできなければ走行競技には進めない上、製作コストやデザインなど「静的審査」用の書類は、大会の3ヵ月ほど前には提出しなければならないため、車両設計の段階から、メンバー同士で細かな打ち合わせと試行錯誤を繰り返します。その中から、学生らしい創造性や工夫、熟意の創出と、自動車製造技術への理解が深まっていくのです。

「私は、自動車に限らずロボットや産業機械全般を学ぶ機械システム工学科なのですが、プロジェクトの活動を通じて機械づくりの基礎が判ってきたような気がします」と寺田 朝陽さん(2年生)が語るように、プロジェクトメンバー全員がエンジニアとしてのスキルを磨きながら、自分自身の可能性や未来への夢を明確に把握しつつあるようです。

学生の1日 time schedule

西田 大桜(にしだ ひろたか)さん【交通機械工学科 4年生】

久留米工業大学フォーミュラプロジェクトでリーダーを務める西田さん。佐賀市内の実家からマイカー通学しているので、スケジュール的には自由が利くのですが、その分、大会が迫ってくると、ついで深夜まで没頭してしまうこともあります。

07:00	起床・朝食・身支度
07:30	登校(自家用車)
08:30	学校着
09:00	授業
12:30	昼食
14:00	授業
18:00	プロジェクト活動開始
22:00	プロジェクト活動終了
22:30	帰宅・夕食
23:00	課題学習・入浴・翌日の準備等
01:00	就寝



活動
ブログは
コチラ!



KUNUMA TECH

久留米工業大学 フォーミュラプロジェクト

活動時間 月・火・木・金 17:00~21:00 水:休み

Web

<https://www.kit-fpkurume.com>



KITFP_FXXX





特集 2

Focus
フォーカス

“まちの課題”解決に向け 学生のアイデアを「社会実装」する

ASURA(アシュラ)

学生たちのアイデアが、社会問題解決や 経済活性化などに結びつくかもしれない

久留米工業大学建築・設備工学科のプロジェクトである「ASURA」。現在、約70人の学部生及び大学院生が所属しており、自治体や民間企業と連携しての共同プロジェクト、古民家などのリノベーションプラン提案、歴史的建造物や町並みの調査、公共空間を活用したイベント企画運営など、多彩な活動を展開中です。

「コレをやっている」と、ひと言で表現するのは難しいのですが、あえて言うなら、地域のメリットや企業のメリット、大学側のメリットと、学生がやりたいことを結びつける活動です」と、ASURAを主宰する成田 聖准教授は説明します。「例えば、空き家問題。久留米市は空き家が多く、それが地域や自治体の問題としてたびたび取り上げられています。これを、学生のアイデアをもとにリノベーションし、住宅として再生したり住宅以外の用途を持たせたりして、実際に人が住み、活用するようになれば、地域問題解決の一歩となり、スポンサー企

業にとっても学生にとっても大きなプラスとなるでしょう。」

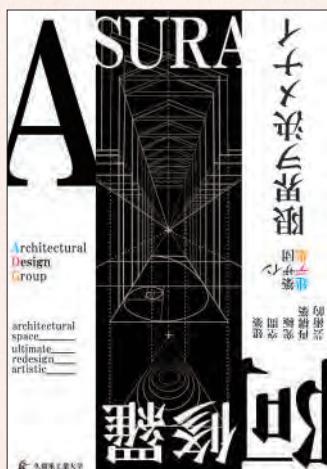
「授業で成田先生が、地域活性化を実現できるような活動を始めると仰っているのを聞いて、そういう勢いのあることなら一緒にやってみようと、今まで走り続けてきました」と語るのは、プロジェクト最年長であり、活動初期から参加していた丹田 太雅さん(大学院2年)。学部4年生の平田 葉さんも、「私は普通科高校からの入学で、建築のことは“ド素人”だったのですが、成田先生の授業でASURAの活動を知り、何だか面白そうだぞ…と、参加を決めました。」『建築学』をベースに社会貢献や地域活性化を目指すASURAの活動は、学生たちに大きな魅力と可能性を感じさせているようです。

突き詰めると「人」にたどり着く 「計画系」の学びと実践

建築学には、大別して「構造系」「環境系」「計画系」の3分野があり、このうち「計画系」は、一般の人がイメージする設計図面を引いたり建物をデザインしたりといった事柄より、なぜその建物がそこにあるのか、どういう人がどういうふうに使っている(いた)のか、その建物は、そもそもどうあるべきなのか…といった、社会学や人文学にも通じる学びに重点を置きます。

ASURAの活動も、この計画系に属するものなので、「どんな形にするか、何色にするかといった、視覚的なデザインについても話し合いますが、それ以前に、その建物がある地域の制度や歴史、地域の社会的情勢と都市計画などを総合的に考えなければなりません。」(成田准教授)

活動の一環として、うきは市にある伝統建造物群の再活用プランを提案する機会があったそうですが、「その際は、文化財などに関する条例や建物の歴史的経緯などをきちんと把握するため、現地に何度も足を運び、建物やまちの背景をもとに『今後、こういうふうに活用すべき』というロジックを組み立てるのが大変でした。」(丹



ASURA主催イベントのポスター

ASURA(アシュラ)は、2017年に前身となるグループを経て2018年久留米工業大学に建築サークルとして誕生。建築の世界で「計画系」と呼ばれる設計などデザイン分野の活動が現在の中心。

- A** Architecture (建築)
- S** Space (空間)
- U** Ultimate (究極)
- R** Redesign (再構築)
- A** Artistic (芸術的)



田さん) 同市役所に出向き、市長や副市長などを相手に政策や都市計画について協議したこと也有ったそうです。

そういった活動を行う分、提案するプランの『魅せ方』も重要で、「完成予想図とコンセプト、そのコンセプトを発案するに至った理由、完成させるまでに必要なプロセスなどがひと目で判るようなパネルデザインに力を入れています」と、 笹渕 三保子さん(3年)。橋元 陽生さん(3年)も、「私もパネル製作には力を入れています。自分ではクオリティの高いパネルだと思っていますが、デザイン力や知識を増やすために、街中のポスターやデザインオブジェなどを意識して見るようになっています。」

オープンキャンパス時に展示するパネルを制作した齊田 瑞穂さん(3年)は、「完成したパネルを成田先生や丹田先輩に見てもらい、「ここをもう一工夫したらもっと良くなる」と指摘された点を、次回の制作時には絶対に直してクオリティを高めようと思っています」と、意気込みを語ってくれました。

「段取り8割」の業務だからこそ 縁の下の力持ちが大切

福岡県内第3の都市でありながら、若者たちのにぎわいに欠けているのが久留米市の弱点の1つ。デートでもショッピングでも、若者たちの視線は、福岡市の天神かJR博多駅周辺に向きがちなのが実情のようです。だったら、「にぎわいのきっかけ」を作ってみよう…という発想から企画がスタートしたのが、ASURAの「ナイトプールプロジェクト」です。大都市にある一流ホテルのプールなどが夏季限定開催し、多くの若者たちでにぎわうナイトプール。それにぎわいを、久留米市中央公園内にある市民流水プールで再現する企画が2年以上前に立ち上りました。コロナ禍発生により実施見送りになっていたのですが、今年8月に開催できる可能性があります。

「開催に向けて、今年3月には現地で実測調査を行い、ASURAが考えている空間デザインが実際に設営できるか確認すると同時に、久留米市内に住む若い人たち向けの告知ポスターを製作しているところです」と、高椋 章太さん(3年)。イベントの企画・運営

は、当日、会場で何をやるかだけではなく、ポスター・フライヤー等の製作、会場内のデザイン、設営のための手はずなど、様々な事前準備が必要です。「先ほどパネルのクオリティが話題になっていましたが、私はデザインのセンスに関して、他のメンバーに負けています」と感じています。だからこそ、デザインを完成させるための『準備』の部分で人よりも汗をかこうと決めているんです。」(高椋さん)

「建築業務は“段取り8割”と言われていて、事前の準備が非常に重要です。高椋君は“デザインに自信が無い”と言っていますが、万全の準備を考え整える作業は、デザインの一環に他ならないのです」と、成田准教授。ASURAを巣立った卒業生の中には、業務マネジメント分野に全精力を傾けるタイプもいたそうです。ギリシア神話に登場する海の怪物「セイレーン」を、コンセプトに掲げて開催する今年の同プロジェクト。成功の暁には第二弾、第三弾も企画・運営する計画で、ASURAの精神は、後輩たちに確実に引き継がれていくそうです。

学生の1日 time schedule

齊田 瑞穂(さいだ みづほ)さん 【建築・設備工学科 3年生】

徒歩数分で大学に到着する、最寄りのアパートで1人暮らしの齊田さん。食事は基本的に自炊派ですが、ASURAの活動が忙しい時は、メンバーたちとファミレスで食事を済ませることも。「メンバーと交流できるので、楽しい時間になっています。」

07:00 起床・身支度

08:50 家を出る

09:00 1限目

12:30 昼食

14:00 授業

18:00 5限目終了

18:10 ASURAのミーティング

20:00 帰宅・夕食

22:30 入浴・翌日の準備等

24:00 就寝



様々な
活動を行って
います

ホーム
ページは
コチラ!



ASURA(アシュラ)

Web

<https://preview.studio.site/live/Z9qpx2K7qP/2>

学びの成長システム

福岡一小さな工業大学だからこそ、成長できる環境があります。

入学時



- ・大学の学びを通して
4年間の
成長ビジョンを持つ。

在学中

- ・「リメディアル教育」と
「学生と教員の距離の近さ」を
活かした教育指導。
- ・「自主的な学び」が加速する
教育環境。



卒業前



- ・自身の成長を感じ、
自信をつける
卒業研究・地域連携。



社会の課題に立ち向かう「主体性」が身につく。

機械システム工学科

■ 機械デザインコース ■ ロボティクスコース

Check



必要な「もの」についてのアイデアから
「もの」を設計し、創り出す

- ☑ ナニかができる！ナンデモできる！
- ☑ 資格取得を強力にサポート
- ☑ ポリシーは「来るもの拒まず」

1年次 機械工学の基礎を学びます



2年次 機械工学の専門教科を学びます



3年次

4年次

社会での実践力を身につけます



即戦力としての期待と広がる可能性。

機械工学のスペシャリストを育成することによって、就職にも強い学科の一つとなっています。徹底した実践教育で身につけた確かな技術力や豊かな知識は、産業分野・工業分野の企業から“即戦力”として大きな期待を寄せられています。

また、産業・工業分野に限らず、医療や福祉、農業、建設関係など、幅広い業界にも進出しています。

交通機械工学科

■ 航空宇宙システム工学コース ■ モビリティデザイン工学コース

Check



モビリティ(ノリモノ)の
未来を創造する

- ☑ モビリティを教材として「ものづくり」を学ぶ！
- ☑ 総合的なものの考え方を身につける！
- ☑ 新しい・楽しい・地域に貢献するモビリティを創る！
- ☑ AIやIoT技術に精通した技術者を育てる！

1年次 工学に関する基礎的な知識を学びます



2年次 工学に関する知識をさらに深めます



3年次 4年次

航空宇宙工学・
モビリティデザイン工学に関連する高度な知識・技術を身につけます



自動車業界を中心に広がる幅広い道。

自動車整備士の資格が取得できる学科として、主な就職先は自動車メーカーや自動車部品メーカーが中心となります。また、流体力学、航空宇宙工学、エネルギー工学、電気工学、情報技術、環境問題、さらに人をワクワクさせるようなデザインや設計・製図の技術や知識を身につけることによって、航空機・宇宙機・船舶関連はじめ、自動車業界以外の多種多様な分野に進む道も年々広がりを見せています。

建築・設備工学科

■ 建築デザインコース ■ 設備デザインコース

Check



建築と設備について総合的に学び
人のつながりを作る

- ☑ テクノみらい館は身近な活きた教材！
- ☑ 資格取得のための講座を導入！
- ☑ 就業力育成に力を入れています！

1年次 専門科目の基礎的な内容を理解し身につけています



2年次 専門科目の応用的内容を理解します



3年次 4年次

専門科目で学んだことを実践的に使えるようになります

珍しい「設備」コースをもつ強み。

全国でも珍しい「設備」専門コースを有する本学科は、テクノみらい館という“活きた教材”的な完成によって、ますます注目を集めています。高い就職率を誇り、毎年さまざまな業界に優秀な人材を輩出しています。就職先は、総合建設業（ゼネコン）、建築設備業、建築設計事務所、建築関連製造業など、多岐にわたります。さらに、建築・設備に関するより高度な専門研究を目指して大学院へと進学する学生が近年増加傾向にあります。



情報ネットワーク工学科

■ ソフトウェアコース ■ ハードウェアコース
■ ビジュアルコンテンツコース

Check



コンピュータテクノロジーを複合的に身につけ、時代を切り拓く

- 「ソフト」・「ハード」・「コンテンツ」の技術修得
- じっくり学ぶプログラミング
- 充実した資格取得支援講座

1年次 コンピュータテクノロジーの入門

2年次 アイデアから形にする技術の基礎を学ぶ

3年次 4年次 情報通信技術の応用力を身につける



これからの情報社会を支え続ける。

コンピュータの基礎からソフトウェア開発、ネットワークやデータベースまで、ICT技術について幅広く学び、ハードウェアの知識も修得することで、高度な情報通信技術を身につけます。その進路は幅広く、ICT関連企業はもちろんのこと、情報関連の部署や関連会社を持つ一般企業への就職も増えています。多くの卒業生がシステムやソフトウェアの開発などに関わり、これからの情報社会を支えています。

教育創造工学科

■ 数学コース ■ 理科コース

Check



教育としての力を養い、“ひとづくり”に貢献する

- ものづくりの面白さを伝えられる教員を養成
- 五感で学ぶ授業で創造力、人間性を育成
- 教育現場体験で「教員への道」を実感

1年次 基礎的な学力を身につけます

2年次 実験・実習を通して数学・理科の学力を身につけます

3年次 4年次 教科教育法を通して教える力を身につけます



実社会での自己実現をめざす。

教育創造工学科では、数学や理科の教員として教壇に立つのが基本的な進路となります。一般の中学校・高校はもちろんのこと、聴覚特別支援学校などへの就職もあります。また、一般企業や教員以外の公務員をめざす学生も少なくありません。入学後の早い時期から自らの将来像を具体的に描き、自己分析をしたうえで目標に必要な力を身につけて、実社会での自己実現をめざしていきます。

大学院／工学研究科

■ エネルギーシステム工学専攻
■ モビリティシステム工学専攻

■ 電子情報システム工学専攻

ここで学びを究める。
ここで工学を追究する。
それもひとつの未来のカタチ。

学びの
ポイント

徹底したマンツーマン指導で、修士への道を「ともに歩む」のが特長。担当教員が学生の自主性を重んじながら研究を展開させることで、より高度で実践的な知識と技術が身につきます。こうして時代が求める専門技術者として社会に羽ばたいていきます。

エネルギー工学を把握できる幅広い知識を持った技術者を育成



エネルギー工学を把握できる幅広い知識を持った技術者を育成

21世紀のエネルギー問題は、エネルギー資源の確保と開発、エネルギー変換の高効率化、省エネルギー技術と地球環境対策の確立等が主な課題と言えます。本専攻は、エネルギー問題の課題に対応し、エネルギー工学を多面的かつシステム的に把握できる幅広い知識を持った技術者の育成を目指しています。このため、講義は熱・流体エネルギー工学、エネルギー機器システム工学、建築・環境システム工学の3分野について用意され、教授陣は企業経験者を含め幅広い分野の専門家で構成されています。エネルギー資源の乏しい日本に活力を与えていたいと思う若いエネルギーを歓迎します。

電子情報システム工学専攻



充実した教授陣と体系的な実践教育でIT産業を支える人材を育成

歴史に類を見ない速さで技術革新を続けるIT産業。本専攻では、充実した教授陣と体系的な実践教育プログラムによる個別指導で実力養成を行って、IT産業を支える人材を育成します。個々の学生のニーズと産業界のニーズをマッチングさせ、資格取得の指導や技術訓練を行って、IT技術のスキルアップを図ります。また、幅広い視野と学力を身につけるため応用数学・応用物理学などの工学基礎教育や、実務に役立つ英語教育も実施しています。学生は、情報系科目的ティーチング・アシスタントや学内学術情報センターでの研修やアルバイトの体験をおこして、さらに実力を高めています。

モビリティシステム工学専攻



自動車をはじめとするモビリティ関連企業の第一線で活躍できるエキスパートを育成

モビリティを専門的に研究する全国でも数少ない専攻で、自動車などモビリティの先進技術、電子制御技術等にかかる開発、研究、設計及び生産技術などに対応できる高度専門技術者の育成を目的とします。教授陣は大手自動車メーカーで開発・研究・設計に従事した各分野の専門家で、先進のモビリティ技術教育に応じます。専門分野をシステム的に選択して履修することによって、自動車をはじめとするモビリティ関連企業の研究・開発・設計・生産の第一線で活躍できるエキスパートを目指します。

工学技術による地域課題解決を通して 自らの成長を実感することができる 教育プログラムを提供



今泉 勝己
久留米工業大学 学長

学長挨拶

新型コロナウイルス感染症の下に3年目を迎えることになりました。まだ油断はできませんが、これまでの2年と異なり、コロナの影響による規制はさまざまな場面で緩和されてきたように見受けられます。その一方で、本学の休学や退学等、コロナ前と比較して依然高止まりの状態です。修学に加えて精神的及び経済的な面での支援強化の必要性を痛感しています。

令和4年本学は、第3次中期計画(2022～2027年)が終了する2027年を目指し、建学の精神を具現化した大学像である2027年ビジョン、「学生一人ひとりが成長を実感できる大学」、「工学技術で地域に貢献する大学」及び「新しい知と技術に向き合う大学」の実現に向けて動き始めました。本学は「福岡一小さな工業大学」であることを強みとして、多様な学生一人ひとりに寄り添いそれぞれの学びたいという意欲を尊重し、工学技術による地域課題解決を通して自らの成長を実感することができる教育プログラムを提供していきます。

2020年に設立したAI応用研究所が中心となって、全学科の必修科目として実施している「地域課題解決型AI教育プログラム」が、先導的で独自の工夫・特色を有するものとして、令和3年度文科省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度(リテラシーレベル)プラス」に選定されました(2021年8月4日付)。更に、2022年3月には「デジタルと専門分野の掛け合わせによる産業DXをけん引する高度専門人材育成事業」に採択されました。「AI×ものづくり×地域課題解決の久留米工業大学」というブランド構築の可能性が見えてきました。

引き続き学生教育の充実と共にキャンパスライフの改善に努めてまいりますので、更なる皆様のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

—— 建学の精神 ——
人間味豊かな産業人の育成

—— 教育の基本理念 ——
知を磨き、情を育み、意を鍛える

新任教職員あいさつ

今年度より着任しました新任教職員をみなさまへご紹介いたします。



建築・設備工学科
准教授

原田 克彦

専門分野

パワーエレクトロニクス、
電気機器



情報ネットワーク工学科
准教授

馬場 隆寛

専門分野

データサイエンス、
パターン認識、
機械学習

本年度より建築・設備工学科に着任しました原田と申します。

専門分野は電気工学で特に半導体電力変換です。研究においては主として太陽光発電システムに適用したインバータについて研究を行ってきました。近年、海外の大学と共同研究も行っています。経験値は自らを高めてくれるので、様々なことにチャレンジしています。これまでの研究活動や大学教員として得た経験を活かし学生に様々なことを伝えていきたいと思っております。

どうぞよろしくお願ひいたします。

本年度より情報ネットワーク工学科に着任しました。これまでの研究では、主にテキストに対して、データサイエンスを用いることにより有益な情報を抽出する研究を行ってきました。特にSNSのコメントからのメンタルヘルス異常検知には力を入れています。

研究以外では、学生のデータサイエンス・機械学習のスキルを向上させるために学生団体であるデータサイエンス部を発足させ、勉強会などを行っています。

研究・教育ともに尽力していきたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。



基幹教育センター
任期付助教

境 優一

専門分野

整数論(保型形式、
ゼータ関数)、
頂点作用素代数



事務局次長

窪田 俊哉

本年度4月より基幹教育センターに着任しました境優一と申します。私は、数学、特に数の性質に関する研究分野に身を置いています。

本学の基幹教育センターでは、学生の方々向けに学修支援を行っていますが、主として専門科目を修める上で基礎となる数学や物理に関する学修支援を行っております。授業の内容や自分で学びたいことに関する疑問や質問があれば、気軽に基幹教育センターを利用していただければと思います。

これからのお学びに寄り添って参りたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

4月に大学事務局次長兼施設管理課長を拝命しました。大学卒業以来、今年の3月まで市役所で勤務してきた私にとって人生初の転職であり、日々新鮮な気持ちで仕事に臨んでいます。まだ短い月日しか経っていませんが、垣間見た講義の様子や熱心なサークル活動の様子から長年培ってきた本学ならではの魅力を感じることができます。

激動する社会の中で、本学が変わらず魅力を放ち続け、多くの学生と地域にとって、なくてはならない大学として求め続けられるように微力を尽くしたいと思っています。

これからどうぞ、よろしくお願ひいたします。

多彩な就職サポートで学生の夢を実現します

■合同業界研究セミナーの開催(2月)

学内で開催される大学独自の「合同業界研究セミナー」です。学生たちがより多くの優良企業と出会うことができ、毎年この場で将来の内定先と運命的な出会いを果たしています。状況に応じ、対面及びWEB型の企業セミナーを実施しています。



■学内単独業界研究セミナー(1月～2月) 単独企業説明会(3月～12月)

企業の採用担当者を招いて、個別のセミナー並びに説明会を開催しています。少人数なので周りを気にせずにリラックスして参加することができます。(対面及びWEB開催)

■就業力実践演習(4月～7月)

工学部3年生の必修科目であり、就職活動に必要なキャリア教育を行います。履歴書やエントリーシート作成に必要な、自己分析・業種・企業研究、文章表現を学び、社会人マナーや適職診断(SPI、職務適正)などの対策を行います。

■就職対策セミナー(5月～12月)

自己PRに必要な自己分析や履歴書の書き方、面接対策、適性診断(SPI、職務適正)など、志望する企業に就職するための対策セミナーを実施しています。

■就活相談並びに履歴書・エントリーシートの添削及び面接指導

卒業後の進路や希望の業界・企業選択など、学生一人ひとりの就職活動全般に対する悩みに職員・教員が親身になって対応します。また、応募書類(履歴書・エントリーシート)の添削も実施。

その他に、外部よりキャリアカウンセラーを招いての就職相談も行っています。(週1～2回・要予約)

■進路面談会(11月)

工学部3年、大学院1年を対象とした「三者面談」を行います。学生・保護者・教員が三位一体となって、学生の就職活動に取り組めるよう実施しています。



■就職課(キャリアサポートセンター)



キャリアサポートセンター
センター長・准教授 藤原 孝造

本当にやりたいこと・就きたい仕事をともに考える

イメージだけで就職希望企業を決めていたり、就活の進め方に悩んでいたりする学生をサポートするのが、キャリアサポートセンターです。「サポート」と言っても“手取り足取り”で指導するのではなく、相談に訪れた学生の話をじっくり聞き、私自身の考え方や最新情報を提供し、最適な進路を学生とともに考えるのが、私の使命だと考えています。

近年、インターンシップへの参加が就活の必須条件となりつつありますから、1～2年生のうちからインターンシップ参加への意識付けを行ったり、自分自身の「強み・特性」に気づいていない学生には、それを気づかせるためのフォローを行ったりと、小規模な大学だからこそ可能な、学生1人ひとりに対する手厚いサポートを実践しています。



内定先 株式会社SUBARU

モビリティシステム工学専攻 2年 坂本 龍太郎

私が就職活動を通して大切に感じたことは、「早期から行動すること」です。就職活動では、これまで自分が学んできたことなどを整理し、企業研究などから将来どのような仕事に就きたいかを考え、企業を選択する必要があります。しかし、早く行動を起こすことでエントリーシート作成や面接対策などにも時間をかけて取り組むことができます。今では、インターネットを活用することで多くの企業情報が得られますが、中には誤情報も多く存在します。そのため、会社説明会やインターンシップで直接企業情報を得ることが最も重要だと考えます。

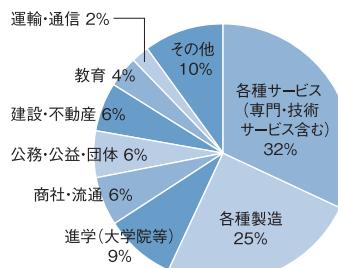
就職活動はやるべきことが多くとても大変ではありますが、ひとり抱え込みず、周りの方々にサポートしていただくことで余裕も生まれると思います。

2021年度 就職状況

2021年度の大学全体の就職率は、民間企業希望者に対する就職率が **98.4%**となりました。

学科別就職データ（2021年度実績）

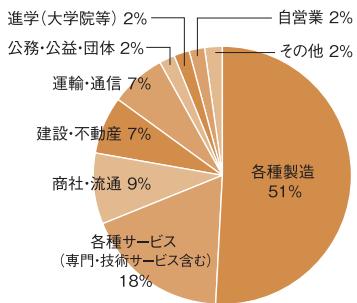
機械システム工学科



主な就職先

- (株)九電工
- アイリスオーヤマ(株)
- 不二精機(株)
- ㈱巴商会
- 筑波ダイカスト工業(株)
- 西田鉄工(株)
- 佐賀県立多久高等学校
- (株)後藤学園 楽志館高等学校
- (株)古賀歯車製作所
- (株)サンコー

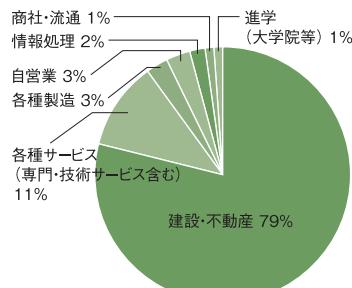
交通機械工学科



主な就職先

- 日産自動車(株)
- (株)トヨタプロダクションエンジニアリング
- (株)マツダE&T
- スズキ(株)
- (株)ホンダテクノフォート
- 大和冷機工業(株)
- (株)翼エンジニアリングサービス
- 西日本プラント工業(株)
- 東京航空計器(株)
- 竹田設計工業(株)

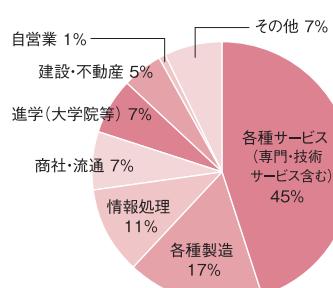
建築・設備工学科



主な就職先

- 大和ハウス工業(株)
- ダイandan(株)
- 大成設備(株)
- 新菱冷熱工業(株)
- ㈱西原衛生工業所
- 共立建設(株)
- 五洋建設(株)
- 松尾建設(株)
- 上村建設(株)
- (株)Lib Work

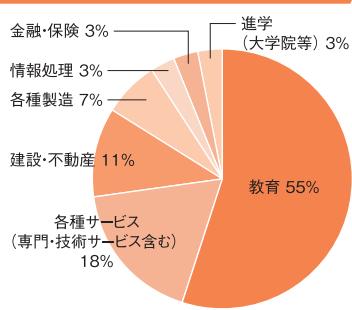
情報ネットワーク工学科



主な就職先

- (株)きんでん
- (株)キューオキ
- (株)ユー・エス・イー
- (株)アルプス技研
- Modis(株)
- 協立電子(株)
- (株)テクノ・カルチャー・システム
- (株)マイテックフィルダーズ
- ALSOK佐賀(株)
- ナサ工業(株)

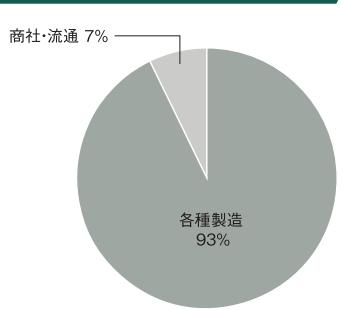
教育創造工学科



主な就職先

- 久留米市立筑邦西中学校教諭
- 横浜市立左近山中学校教諭
- ㈱九州電機工業学園 希望が丘高等学校教師
- 医社一心会 初富保健病院
- (福)伍福会
- ㈱さなる九州
- ㈱豊和銀行
- (株)テクノ菱和

大学院工学研究科



主な就職先

- 日立造船(株)
- 三菱ふそうトラック・バス(株)
- 三菱重工業(株)
- ダイハツ工業(株)
- (株)ティ・アイ・シイ
- マツダ(株)
- 富士電機(株)
- ヤマハ発動機(株)
- 日立Astemo(株)
- 広島アルミニウム工業(株)

※他の上場企業およびそれに準じる大手・中堅企業への就職実績多数。

金銭面でのサポートも充実 遠方での就職活動も大学が応援します

県外でのインターンシップや採用試験にかかる交通費や宿泊費の一部を大学が負担する制度です。関東以北では1回最大30,000円の補助が3回まで受けられます。※詳細については就職課へお問い合わせください。

青地区	30,000円
緑地区	25,000円
黄色地区	20,000円
ピンク地区	5,000円
オレンジ地区	3,000円



就職活動に関することは
就職課（キャリアサポートセンター）へ。

就職課（キャリアサポートセンター）

100号館2F TEL.0942-22-2272(直通)

E-mail:shushoku@kurume-it.ac.jp

<https://www.kurume-it.ac.jp/shinro/>

就職活動についての詳しい内容は
ホームページにて



入学式

令和4年度入学式を挙行しました

令和4年4月5日(火)に本学体育館において、令和4年度久留米工業大学入学式を挙行しました。本年度は、コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、午前・午後の2部制短縮で行い、工学部・大学院合計374名の新入生を迎えることができました。

今泉学長の新入生を迎える式辞に応え、新入生代表の松田菜々美(機械システム工学科)さんが新入生総代宣誓を行い、大学4年間の学生生活に向けて強い決意を述べました。

また、当日は新入生と教職員のみで挙行したため、当日参加できない保護者の方にYouTubeでのLive配信も行いました。卒業までの4年間、教職員一同、新入生の皆様が充実したキャンパスライフを送れるようにサポートしていきます。

■新入生一覧

工 学 部	機械システム工学科	62名
	交通機械工学科	60名
	建築・設備工学科	97名
	情報ネットワーク工学科	105名
	教育創造工学科	42名
大 学 院	エネルギーシステム工学専攻	2名
	電子情報システム工学専攻	5名
	モビリティシステム工学専攻	1名



大学祭 新愁華祭

今年度愁華祭実行委員会、委員長の平田です。この2年間、新型コロナウイルスの影響で愁華祭が実施できず、工学部の1~3年生は愁華祭を経験したことがありません。今年は新型コロナウイルスによる影響を考慮しつつも、愁華祭開催に向けて活動しています。長年の歴史ある愁華祭を復活させるとともに、新しい伝統を作り、次の世代へと残していくことができればと考えています。

愁華祭のテーマは現在検討を進めているところですが、私たち愁華祭実行委員会の思いとして、在学生や近隣の方、また県内の高校生にも楽しんでもらえるように、今までとは大幅に企画等を変更しようと考えています。

最後に、これまで支援して頂いた企業の皆様にも、今までと違う愁華祭をご覧いただき、久留米を盛り上げ、地域と繋がる大学として貢献できるように尽力していきます。引き継ぎ、ご指導とご支援をよろしくお願ひいたします。

学内合同説明会

学内合同企業説明会を開催しました

就職課(キャリアサポートセンター)では大学内におきまして合同企業説明会や合同企業研究セミナーを開催しています。合同企業説明会には多くの企業が参加され、直接学生へ企業情報を提供していただき、参加した学生は複数の企業情報を入手し、就職意欲を高め就職活動に繋げています。

■学内合同企業研究セミナー(オンライン形式)

開催日時:令和4年2月17日(木)・18日(金)

対象者:工学部3年生、大学院1年生

本来、2月18日(金)に対面形式で100数十社を招き開催する予定でしたが、年明けの新型コロナ感染拡大により急遽オンライン形式に切り替え、2日間にわたり実施し、全国から81社の企業が参加されました。

参加学生数:660名(延べ人数)

■FISA合同企業説明会(対面形式)

開催日:令和4年3月24日(木)

福岡県内に拠点を置くIT関連企業が加盟する、福岡県情報サービス産業協会(FISA)主催の説明会を開催し、10社の企業が参加されました。

■久留米市合同会社説明会(対面形式)

開催日:令和4年5月27日(金)

地域連携事業の一環として、久留米市雇用・就労促進協議会主催の説明会を開催しました。地元久留米市近郊の企業20社が参加され、地元企業の魅力を伝えいただきました。

合同企業説明会の他に、年間を通して学内単独企業説明会を行っています。単独企業説明会は各企業が本学に来校され、直接学生へ企業概要や採用方法について説明していただきます。就職課では企業説明会等の情報を配信しておりますので、学生の参加をお待ちしております。



※参考 久留米市会社説明会写真



教務課 授業の出席について

本学では、定期的に出席調査を行っております。令和4年度の調査は右表のとおりです。授業(講義)は全15回で開講しており、出席時間数が2/3(10回)を満たさない場合は、学期末の試験を受けられなくなります。ただし、一部の科目では、この限りではありません。試験を受けられなければ、必然的に単位を修得することが出来なくなり、結果的に留年や退学といった状況につながってしまう恐れもあります。このような事態を未然に防ぐため、教務課より対象学生の保護者へ文書で連絡をし、クラス担任との個人面談を実施しています。その他、成績や卒業・進級に関するお問い合わせは教務課へご連絡ください。

Tel:0942-22-2348 Mail:kyomu@kurume-it.ac.jp

■令和4年度の出席調査及び学生指導に係る日程

調査授業回数	第1回	第2回	第3回	
	①~②	③~⑧	⑨~⑯	
[前期]	連絡予定	5月中旬	6月下旬	9月中旬*
	面談期間	5/18~26	6/29~7/12	面談なし
[後期]	連絡予定	10月下旬	12月上旬	2月下旬*
	面談期間	10/28~11/8	12/12~23	面談なし

*第3回の連絡は全学生へ成績表とともに出席状況を送付。

e-Sports 「League U」大学・専門学生大会優勝を目指して

私たちe-Sports愛好会は、ライアットゲームズが開発・運営している『VALORANT』というゲームを行っています。『VALORANT』とは、現在世界でもっともプレイされているFPSで、日本でも競技シーンが盛り上がっており、令和4年4月には日本のチームが世界ベスト3の快挙を達成しました。

私たちは毎年夏に行われる「League U」大学・専門学生大会優勝を目指し、日々練習に励んでいます。練習内容としては、週二日の練習日を設け、e-Sports専門学校や一般のチーム様と練習試合を行っています。外部コーチも在籍しております、e-Sportsで最も大事な戦術的な面での指導を行っていただいております。

他にもイベントの企画運営等も行なっており、今年の8月28日には天神でe-Sports施設を借りてオンラインイベントを開催する予定です。オンラインイベントでは、専門学校生や一般の方などを招待し、約20名の大会を開催します。また、今後も同様の大会を定期的に行い、福岡県のe-Sports業界を大いに盛り上げていきたいと考えています。応援よろしくお願ひします。



100号館〈テクノみらい館〉



「未来が見える新棟」を建設のコンセプトに、設備とエネルギーの見える化を実現。省エネと創エネを追求した先進のエコロジー設計で、建物自体も身近な教材になります。地域の発展と安全に寄与する「開かれた大学」を目指して、平成26年度に完成しました。各種設備の充実、学生のコミュニティづくりはもちろん活きた教材としても活用されます。



むき出しの天井設備

空調のダクト、給排水用配管、電気配線などの設備を意図的に「見える化」することで、建物そのものを身近な教材としています。



放射型冷暖房システム

地下水を使って冷やした(暖めた)パネルからの放射で室内温度を調整するため、地球環境にやさしい冷暖房システムです。



制振プレース

地震力や風圧力に対する水平方向の強度確保と、変形の抑制を図る斜材(プレース)をあえて見える形で設置しています。



ソーラーパネル

太陽光発電のパネルを4階から9階の高層棟南面の手摺部に設置し、見えるようにするとともにパネル数の増加を図っています。

2022 Campus schedule

2022年度、久留米工業大学の年間スケジュールです。

4
APR.

- 在学生履修登録【1～4日】
- 入学式【5日】
- 前期授業開始【11日】
- 開学記念日【23日】
- 履修登録変更及び取消期間【25～27日】
- 通常授業（昭和の日）【29日】

6
JUN.

- 前期補講日【11・25日】



8
AUG.

- 前期補講日【1～3日】
- 前期末試験【4～6・8～9日】
- 試験予備日【7日】
- 夏季休業日【10日～9月23日】



5
MAY.

- 振替休日（昭和の日）【2日】
- 振替休日（海の日）【6日】

7
JUL.

- 授業予備日【2・9・16日】
- 履修取消期間【11～13日】
- 通常授業（海の日）【18日】
- 前期補講日【23日】
- 前期授業終了【29日】



9
SEP.

- 前期追・再試験【1～2・5～6日】
※大学院実施なし
- 履修登録変更及び取消期間【20～21日】
- 後期授業開始【26日】



11
NOV.

- 授業予備日【12日】



1
JAN.

- 授業開始【10日】
- 月曜日授業実施【10日】
- 履修取消期間【10～12日】
- 臨時休業日【13日】
- 後期補講日【21・28・30・31日】
- 後期授業終了【27日】



2
FEB.

- 学年末試験【1～2・6～8日】
- 試験予備日【9日】
- 学年末追・再試験【20～22日】
※大学院実施なし
- 追・再試験予備日【23日】



3
MAR.

- 学位記授与式【17日】



Information

学生相談室

学生相談室では、臨床心理士と社会福祉士が学生の多様な相談に対応しています。学業や進路に関する悩みだけでなく、友人関係や学生生活全般、気分の落ち込み、やる気が出なくて辛い、精神面に関する悩み等、何でも相談できる場所です。また、発達障害や持病により、柔らかな支援を希望される学生やその保護者の皆様にも利用いただけています。

どんな些細な心配事や悩みでも丁寧にお話を聞かせていただきますので、安心してご利用ください。

開室日時		
月	臨床心理士	9:00~17:00
水	臨床心理士	11:00~17:00
木	社会福祉士	9:00~17:00
金	臨床心理士	11:00~17:00



相談内容(具体例)

- やる気が出なくて、欠席してばかり。どうしよう。
- 原因は分からないけれど、落ち込むことが多い。病気なのだろうか。
- 大学に通うことが辛くなってきた。やめたいと思うことがある。
- 友人ができないが、このままでいいのだろうか。
- ストーカーの被害にあってる。どうしたらいい?
- パイト先の人間関係で悩んでいる。アドバイスが欲しい。
- 将来のことが不安。大学で学んでいることが役立つのだろうか。
- 就職活動がうまくいかない。どうしたらいいだろう。

コミュニティ広場について

学生相談室と同じ3号館1階にコミュニティ広場があります。ここは、仲間と集まっておしゃべりしたり、お昼ご飯を食べたり、授業の合間に休憩したりと、学生がいつでも利用いただける場所となっています。ここで友人関係が広がったり、サークル活動を知ったりすることもあります。居心地のいい空間となっておりますので、ぜひお気軽にご利用ください。



予約方法

カウンセリングの予約やお問い合わせは、医務室まで直接来室いただくか、お電話にてご連絡ください。
TEL:0942-22-2347

※予約優先での対応になりますが、予約をしなくても利用することができます。

PICK UP

奨学金制度

本学独自の奨学金制度です。

《二又奨学金》

応募資格	《経済支援育英奨学金》		《二又奨学金》	
	①経済的理由により学生生活に著しく支障をきたす者。 ②原則として在学期間中の受給は1回限りとする。 (二又奨学金を受給した者は申請不可) ③主たる家計支持者の収入が給与収入の場合700万円未満、事業所得の場合295万円以下である。 ④2年次以上の学生		①学業、人物ともに優秀で、かつ健康であり、学資の支弁が困難と認められる者 ②原則として在学期間中の受給は1回限りとする。 (経済支援育英奨学金を受給した者は申請不可) ③主たる家計支持者の収入が給与収入の場合700万円未満、事業所得の場合295万円以下である。 ④3年次以上の学生	
奨学金の額	年間授業料の半額(390,000円) ※返還の義務なし		年間授業料の半額(390,000円) ※返還の義務なし	
採用人数	前期7名、後期7名		前期、後期合わせて5名程度	
募集時期	前期(5月頃)、後期(10月頃)		前期(5月頃)、後期(10月頃)	

※本学スカラシップ制度及び高等教育の修学支援新制度との重複不可



公式SNS



kurume_it



kurume_it



久留米工業大学

